

平成18年4月卵稚仔調査結果速報

鹿児島県水産技術開発センター

独立行政法人 水産総合研究センターの委託事業である資源評価調査事業において下記のとおり卵稚仔調査を行ったので、結果をお知らせします。

1 調査日

平成18年4月9～14日

2 調査船

くろしお（260トン）

3 調査方法

図の25定点において改良型ノルパックネットにより卵・稚仔魚等を採取し、分布域、数量等を調査した。数量比較は、県西部および薩南・県東部海域における1定点あたりの平均採取等を過去の数値、5ヶ年の平均値と比較した。

4 調査結果

【カタクチイワシ】

県西部海域

・卵の分布状況

北薩海域および宇治群島周辺海域で若干分布が見られたものの、1定点あたりの平均採取数は平年をかなり下回った。

・稚仔魚の分布状況

北薩海域および宇治群島周辺海域で若干分布が見られたものの、1定点あたりの平均採取数は平年をかなり下回った。

薩南・県東部海域

・卵の分布状況

鹿児島湾口部で比較的高い密度の分布が見られた。1定点あたりの平均採取数は平年をかなり下回った。

・稚仔魚の分布状況

大隅海峡および志布志湾沖で比較的高い密度の分布が見られた。1定点あたりの平均採取数は平年をかなり下回った。

【その他のイワシ類】

卵、稚仔魚とも採取数は少なかったものの、ウルメイワシの卵稚仔魚が種子島東部海域で、マイワシの稚仔魚鹿児島湾口で採取された。

